

山田美妙 （山田） 詩人、小説家。慶應四年七月八日江戸生れ、明治四十二年十月二十四日歿（二八六一一九〇）。本名武太郎。筆名あせん、や。

だ。、（やま）だ美妙、二世曲亭、二世曲亭主人、二世曲亭馬琴、以良都女記者、情亭美妙、貳世曲亭、明のくら、樵耕、樵耕蛙船（船）、武太郎、美妙子、美妙齋、美妙齋主人、美妙齋主人美妙、美妙齋主人蛙船、

蛙舟子、蛙船（船）、阿せん、飛影等。明治十八年大尊豫備門在學中尾崎紅葉等と親友社を興し、機關誌『我樂多文庫』を創刊。二十一年雜誌

『都の花』を幹。三友一致體の小説を試み、（葉亭）四迷と共（小）小説言語革新の先驅者であり、紅葉の先づいて盛衰を得るも、後年は不遇の

了りた。

著書『新體詞選』（編、明治十九年八月十日）白香雲書屋。（紅葉）丸阿九華合

著）、『國民小説』（合著、明治二十三年十月二十日）民友社）、『や

たらじま（横）澤（城）』（明治二十四年二月）二十五日春陽堂

『聚芳千種』）、『猿面冠者』（明治二十四年四月十日）春陽堂『文學

世界』）、『雨の白くらし』（明治二十四年七月十四日）博文館『少年

文學』）、『新調 青年唱歌集・第壹編』（明治二十四年八月十九日）博

文館）、『盜賊秘事』（明治二十四年十一月四日）青木高山堂）、『白

木室の粧飾法』（明治二十五年八月二十一日）博文館『女學全書』）、

『萬國人名辭書』全二冊（上巻）外國文部、明治二十六年七月十日、

下巻）本邦文部、九月四日）博文館）、『白本地名全辭書・卷一』（明

治二十八年十一月五日）日本大辭書發行所）、『村上義光錦旗風』（明

治二十八年十一月二十日）博文館）、『幼年志編』（合著、坂下龜太

郎編、明治二十七年二月十七日）博文館）、『評註近松著作集』全二冊

〔評註、明治二十年十月五日文修書房「日本浄瑠璃叢書」〕、上田維

曉著「和歌獨習會存」全八冊（補、明治二十二年二月十五日青木高山

堂）、（露伴）「はろきおの」（湖賀）合著、明治二十二年五月十四日青木高

山堂）、（美人）「衣香扇影」（編、明治二十二年八月）二十日青木高山

堂）、（佛敎）「佛敎格言集」（編、明治二十二年二月十七日濟美館）、（青

す）「札」（合著、明治二十四年一月二十九日春陽堂）、（言文）「致文例」

（貳・明治二十四年九月二日（内外出版協會）文社、参、十一月二十九日内外

出版協會）、（日本社）「文禮式（第一編）」（明治二十五年七月十八日

青木高山堂）、（新體）「新體詩歌作法」（明治二十五年十月九日青木高山

堂）、（評釋）「博多小女郎浪枕」（明治二十五年十一月二十一日青木高

山堂）、（海隊）「遠征」（明治二十六年一月一日青木高山堂）、マケ

ス・オオレ九著「御婦人殿下」（譯、明治二十六年四月四日内外出版

協會）、（金世）「金世輔」（明治二十七年二月十五日青木高山堂）、（世界

歴史）「大年表」（明治二十七年八月二日青木高山堂）、（新編）「漢語辭林

一」各款語二萬七千辭典』（二版、明治四十年四月二十五日青木高山

堂）、（諷刺）「文學」（たう）「女」（明治四十三年四月二十三日誠堂書店）、

（史外）「史傳」（平衡）（明治四十三年八月十五日今昔堂書店）、（美抄）「集」

（明治四十三年十一月十八日春陽堂）、（現代）「詩人全集・第一卷」初

期「詩人集」（合著、昭和五年五月五日新潮社）、（遺稿）「祇王」（内

題「台拍子祇王」今春聽考訂、昭和九年四月五日命館出版部）、（美

抄）「選集・上巻」（編、昭和十年十月二十五日命館出版部）、（柳田）「原

「蝴蝶他五篇」（昭和十四年九月五日岩波書店「岩波文庫」）、（マヤ

ギナル）「下將軍」比律賓獨り戰話」（昭和十七年十一月十日青英書院）

等。

文獻、塩田良平著『山田美妙研究』(昭和十三年五月一日京都・人文書院)等。